

# 経済動向調査のまとめ

令和6年度 第1四半期 (4月～6月)

## 1. 兵庫県の景気動向

(令和6年8月14日発表 産業労働部地域経済課による兵庫県の経済・雇用情勢を集約)

### ① 景況

現状 (良い-悪い) 構成比 (%ポイント)

区分	R5.9	R5.12	R6.3	R6.6	R6.9(予測)
全産業	10	18	14	15	10
大企業	21	24	19	16	17
中堅企業	15	18	10	17	9
中小企業	2	15	14	14	7
うち製造業	6	13	9	9	8
うち非製造業	15	23	21	23	12

出所：県内企業短期経済観測調査 (日本銀行神戸支店)

企業の業況判断は、コロナ禍以降のピーク圏内で推移している。先行きは慎重な見方となっている。

### ② 需要

項目	R4年度	R5年度	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6
商業販売額:億円	18,529	19,168	1,453	1,641	1,536	1,589	1,628
(前年度比増減率%)	(+ 2.8)	(+ 3.4)	(+ 5.7)	(+ 3.0)	(+ 1.3)	(+ 1.4)	(+ 5.5)
乗用車販売台数:台	144,966	156,197	12,803	16,234	10,503	10,871	13,013
(前年度比増減率%)	(+ 2.4)	(+ 7.7)	(▲11.4)	(▲14.7)	(▲11.5)	(▲5.1)	(▲4.2)
新設住宅着工戸数:戸	31,911	28,622	2,267	2,215	2,422	1,906	2,438
(前年度比増減率%)	(+ 6.9)	(▲10.2)	(+ 8.9)	(▲ 15.9)	(▲ 9.8)	(▲ 19.8)	(+ 11.8)
神戸港輸出額:億円	73,695	75,219	5,877	7,000	5,911	5,804	6,436
(前年度比増減率%)	(+ 19.8)	(+ 2.1)	▲ 1.7	▲ 0.5	▲ 7.3	(+5.8)	▲ 0.8

出所：商業動態統計 (経済産業省)、新車登録速報 (日本自動車販売協会連合会兵庫県支部)、軽自動車新車届出状況 (兵庫県軽自動車協会)、住宅着工統計 (国土交通省)、神戸港貿易概況 (神戸税関) (商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース)

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(実績)	R6年度(計画)
設備投資額(前年度比増減率%)	1.2	▲ 4.5	9.3	2.6	14.6
(R2年度比:R2=100)	(100.0)	(95.5)	(104.4)	(107.1)	(122.7)

出所：県内企業短期経済観測調査 (日本銀行神戸支店)

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。

輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、増加計画にある。

### ③ 生産

項目	R4年度	R5年度	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5
鉱工業指数:R2=100	101.8	97.0	92.4	96.1	99.4	90.1	94.8
(前月比増減率%)	(+ 0.4)	(▲ 4.7)	(▲ 6.8)	(+ 4.0)	(+ 3.4)	(▲ 9.4)	(+ 5.2)

注) 月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較)

出所: 兵庫県鉱工業指数 (県統計課)

生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては横ばい圏内で推移している。

### ④ 雇用

項目	R4年度	R5年度	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6
有効求人倍率(季節調整値):倍	1.03	1.02	1.03	1.04	1.01	0.99	0.97
新規求人数(原数値):人	29,795	28,838	29,459	28,151	27,599	26,041	26,766
(前年度比増減率%)	(+ 5.5)	(▲ 3.2)	(+ 1.7)	(▲ 5.1)	(▲ 4.2)	(▲ 0.7)	(▲ 8.6)
雇用者所得計:億円	5,510	5,719	4,790	5,252	5,070	5,042	-
(前年度比増減率%)	(+ 3.2)	(+ 3.8)	(+ 3.3)	(+ 5.8)	(+ 1.6)	(▲ 1.5)	(-)

注) 有効求人倍率の年度値は原数値、雇用者所得計の年度値は年平均 出所: 一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。

### ⑤ 金融

項目	R4年度	R5年度	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7
企業倒産件数:件	368	568	60	46	48	51	51
(前年度比増減率%)	(+11.9)	(+54.4)	(+25.0)	(+35.3)	(+6.7)	(+4.1)	(+59.4)
企業倒産負債総額:億円	649	6,808	29	162	37	28	31
(前年度比増減率%)	(+120.5)	(+948.6)	(▲31.1)	(+1,346.2)	(▲94.2)	(▲5.1)	(+308.9)

出所: 兵庫県企業倒産状況 (東京商エリサーチ神戸支店)

倒産件数は、前年を上回った。

～県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント～

管内の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに回復している。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。設備投資は、増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

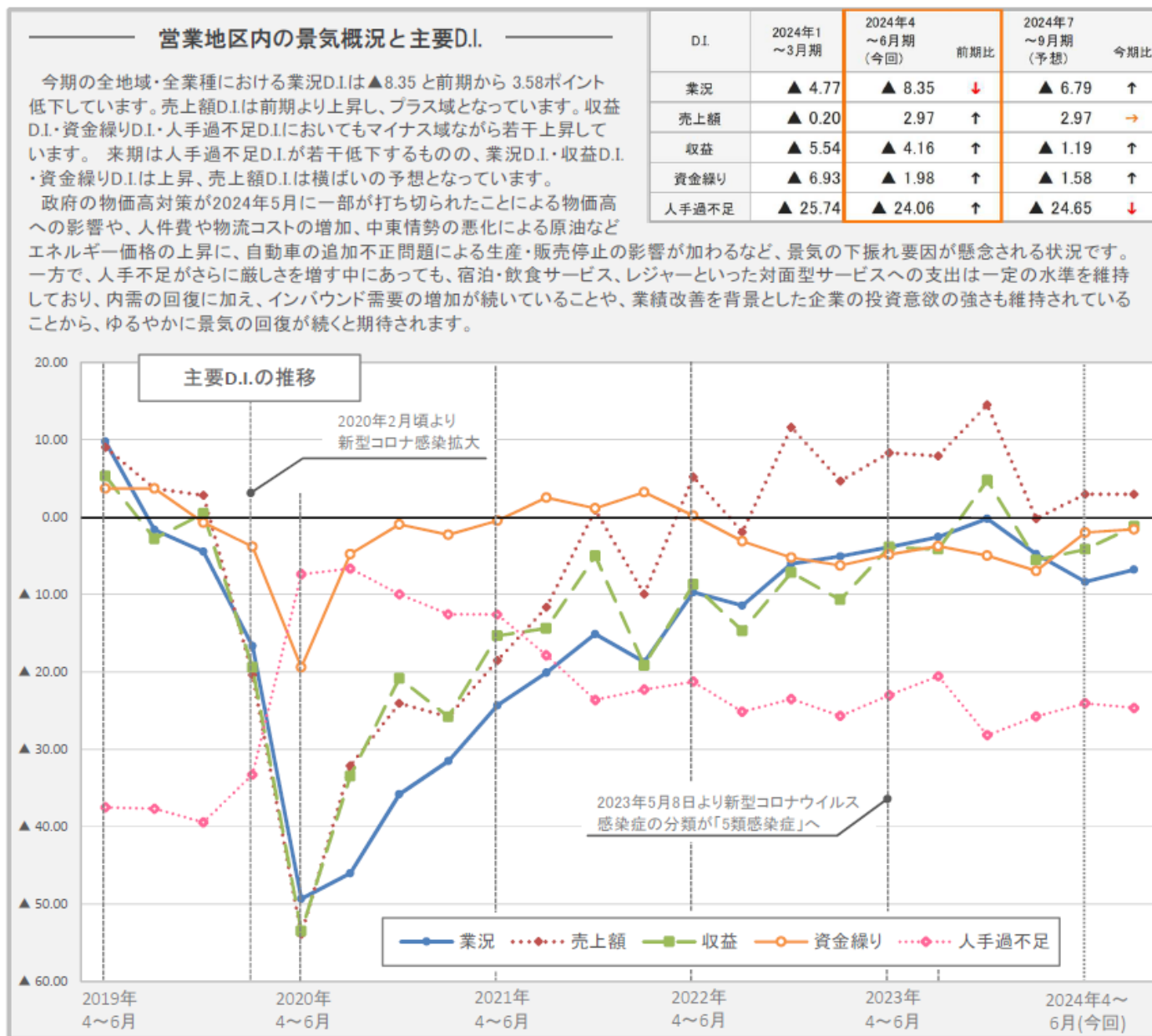
こうした中、生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては横ばい圏内で推移している。雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回って推移している。

(令和6年7月18日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

# 1. 地域における景気動向

(但陽信用金庫 景気動向調査レポートより 2024年 4~6月期)

※ D.I. (Diffusion Index)とは 「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方角を判断する指数です。

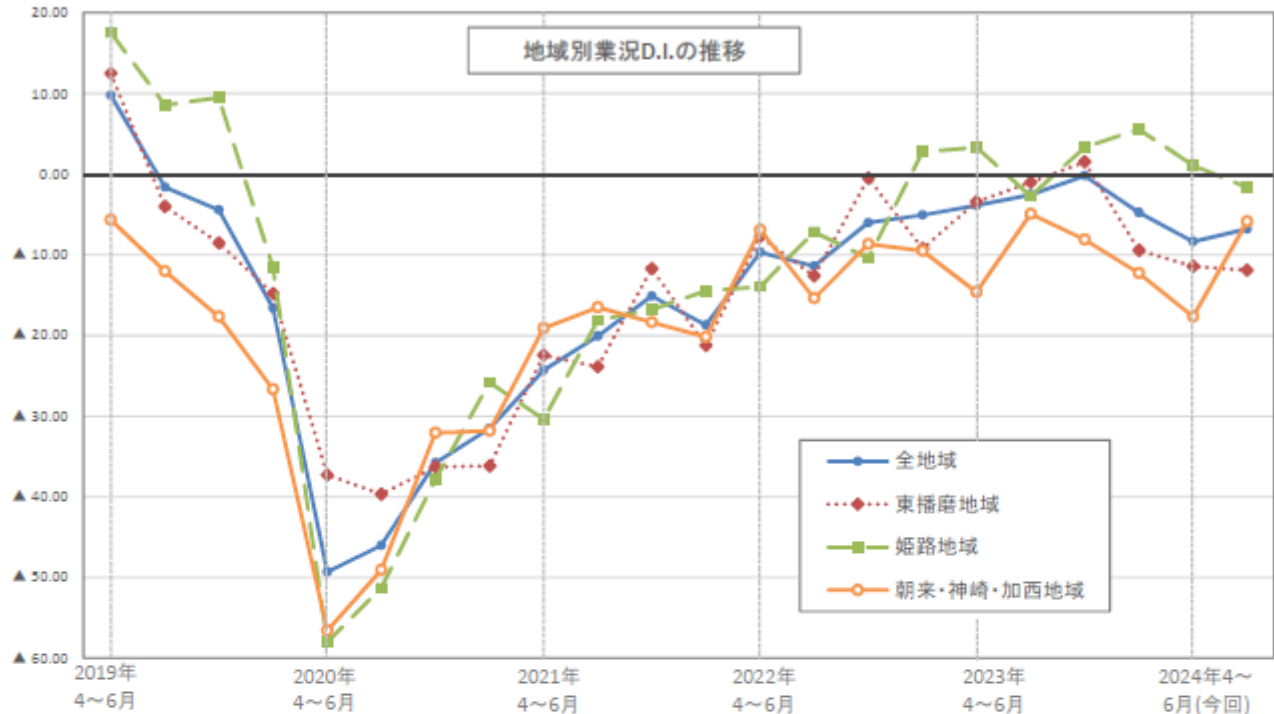


(回答企業 506社) (回答率 98.6%)

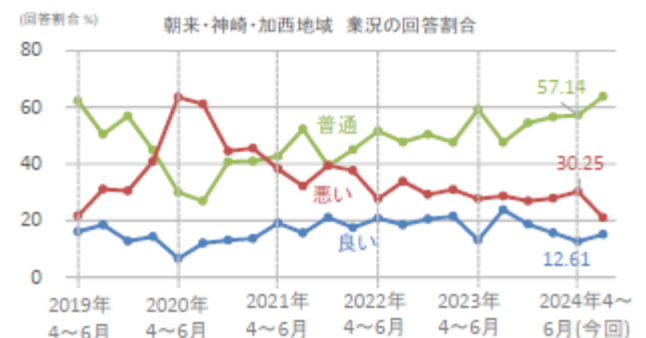
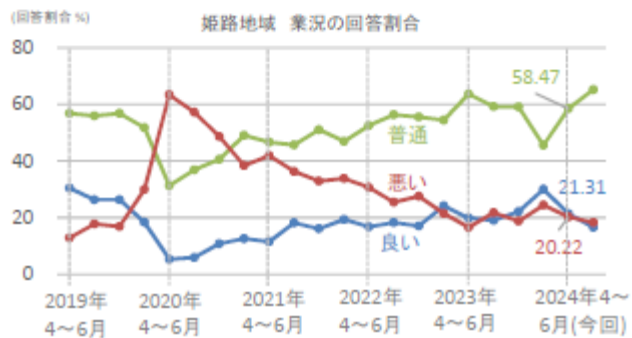
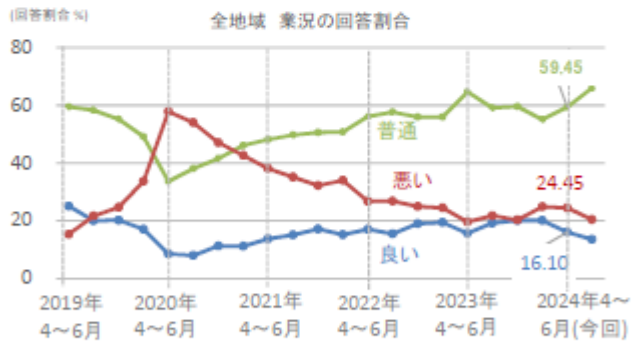
## 営業地区内地域別業況D.I.

今期の地域別業況は、東播磨地域が ▲11.44 と 1.99 ポイント低下、姫路地域が 1.09 と 4.47 ポイント低下、朝来・神崎・加西地域は ▲17.65 と 5.35 ポイント低下となり、全地域・各地域において前期から低下しています。来期は東播磨地域と姫路地域が低下するものの、朝来・神崎・加西地域で上昇となり、全地域では業況D.I.が若干上昇する予想となっています。

地域	(調査数)	2024年1～3月期	2024年4～6月期(今回)	前期比	2024年7～9月期(予想)	今期比
全地域	506	▲ 4.77	▲ 8.35	↓	▲ 6.79	↑
東播磨地域	201	▲ 9.45	▲ 11.44	↓	▲ 11.94	↓
姫路地域	183	5.56	1.09	↓	▲ 1.66	↓
朝来・神崎・加西地域	122	▲ 12.30	▲ 17.65	↓	▲ 5.88	↑



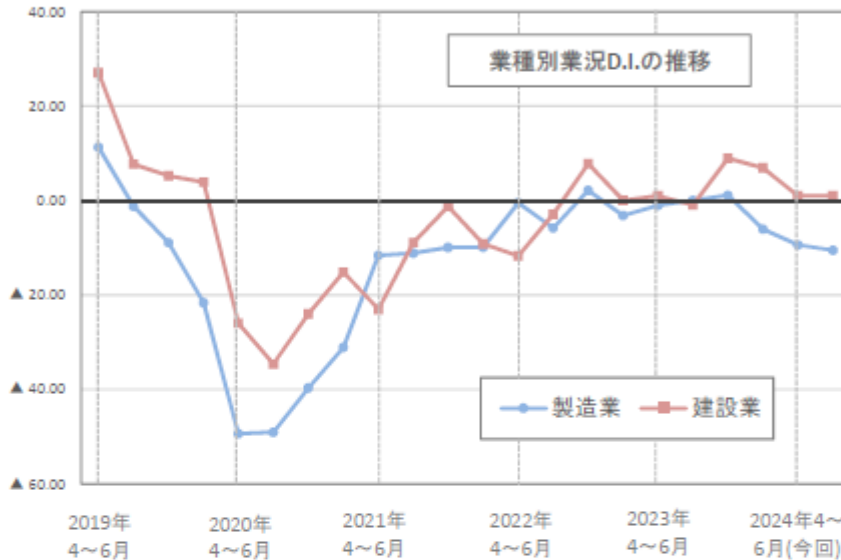
## 地域別業況D.I.の回答割合



## 営業地区内業種別業況D.I.

業種別では、製造業・サービス業・不動産業・卸売業・建設業が前期から低下し、小売業は上昇しています。来期は、製造業・不動産業・小売業が低下、サービス業・卸売業が上昇、建設業が横ばいの予想となっています。

業種	2024年1～3月期	2024年4～6月期(今回)	前期比	2024年7～9月期(予想)	今期比
製造業	▲ 6.08	▲ 9.44	↓	▲ 10.56	↓
サービス業	▲ 2.60	▲ 7.89	↓	1.32	↑
不動産業	▲ 3.33	▲ 16.67	↓	▲ 20.00	↓
小売業	▲ 15.38	▲ 4.55	↑	▲ 6.15	↓
卸売業	▲ 14.58	▲ 24.49	↓	▲ 14.58	↑
建設業	6.86	0.98	↓	0.98	→



### 業種別業況D.I.の回答割合

